

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 4年 10月 21日

設置・運営主体	上尾市		
設置主体	上尾市		
経営主体	上尾市		
事業所名 (施設名)	上尾市立 あたご保育所	種別	保育所
所在地	〒 362-0034 埼玉県上尾市愛宕2丁目23-22		
電話	048-774-8079		
FAX	048-774-8379		
Email	<a href="mailto:s173900@city.ageo.lg.jp">s173900@city.ageo.lg.jp</a>		
URL			
施設長氏名	柳川 菜穂子		
調査対応担当者	柳川 菜穂子 (所属、職名： あたご保育所 所長 )		
利用定員	125名	開設年	昭和 48年 4月 1日
理念・基本方針	<p>すべての児童が心身ともに健やかに育成されるよう努める。          すべての児童の生活を等しく保障し愛護する。          保護者ととともに、すべての児童を心身ともに健やかに育成する。          乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であり、人として生きる力を養う。          子どもが健康、安全で、情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図る。          養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。          保護者との密接な連携をとり、保育の内容等が保護者の理解と協力を得られるように努め子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視した保護者支援を行う。          地域における子育て支援のために、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。</p>		
開所時間 (通所施設のみ)	平日 7:00~19:00 土曜日 7:00~18:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	9	6	1		2
1歳児	15	15	1		3
2歳児	18	18	1		3
3歳児	25	25	1		2
4歳児	28	27	1		3
5歳児	30	28	1		3
計	125	119	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		20人	
うち	保育士	16人	保健師・看護師 2人
	栄養士・調理員	2人	その他（ ） 人
非常勤職員数		27人	（常勤換算 13.6人）
うち	保育士	10人	（常勤換算 7.3人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算 0人）
	栄養士・調理員	2人	（常勤換算 1.9人）
	その他（ <small>延長時間パート職員、事務員</small> ）	15人	4.4人）

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 0人	非常勤： 9人
	退職	常勤： 0人	非常勤： 6人

（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢 39.5歳（37.5歳）

（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数 15.4年（14.5年）

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。

## 【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	朝7:00~7:29 夕18:31~19:00 月額2000円 1回利用100円
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名: )		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

## 【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 3 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

0 人

・ボランティアの業務

--

## 【実習生の受け入れ】

・令和 3 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 5 人

### 【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	807.395	m <sup>2</sup> (延べ床面積)
	児童1人あたり	6.45 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	740	m <sup>2</sup>
	児童1人あたり	5.92 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	28年 6月(耐震工事)

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

<p>・各行事終了後に保護者アンケートを取り、今後の行事を進める上で、意見感想等をいただいている。またその都度保護者へアンケート内容を集計したものを配布し、保護者間でも内容を共有している。</p> <p>・日々連絡ノートを利用し、日中の子どもの様子、健康状態を伝えたり、保護者からの返答をいただいたりし、内容を共有している。</p> <p>・クラス懇談会を実施し、保育所での様子を伝えたり、保護者からの感想悩み等を聞き、全体で意見交換できる場を設けている。</p> <p>・苦情第三者委員制度を取り入れ、意見箱を設置している。</p>
---

## 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・広い園庭を利用し、身体をたくさん使って遊ぶように取り組んでいる。職員も一緒になって遊び、子どもと楽しさを共感し、同じ目線にたって保育している。
- ・土山を利用し、泥遊び、水遊びを積極的に取り入れ、小さい年齢の子どもたちも感触遊びを楽しんでいる。心も身体も開放的になってあそぶことで、心身の発達を促している。
- ・近くに運動公園と水上公園があることで、四季折々の自然に触れることができる。おおきな松ぼっくりやどんぐり、黄色く色づいたイチョウの葉等を持ち帰り、制作物などにも活かされている。また、カブト虫の幼虫などを水上公園で見つけ触れ親しみ、各クラスで世話をしながら命の大切さを実感することができる。今年も卵が幼虫にかえり、来年の夏に向け準備している。

## 【第三者評価の受審状況】

・ 受審回数（前回の受審時期）

2 回 （平成 28 年度）